

打瀬小学校 「卒業研究発表会」

打瀬小学校では毎年 6 年生一人ひとりが 1 年間かけて「卒業研究」を行い、その発表会を 1 月下旬から 2 月上旬にかけて行います。この卒業研究と発表会は打瀬小創立のときから行われているもので、同校の卒業生なら誰もが行った打瀬小の伝統の教育です。今年は 2 月 10 日午前中にこの発表会が行われたので取材してきました。【松村】



卒業研究発表会の様子。1 人 15 分と時間が決まっています、進行係や計時係が発表会を管理する本格的なもの。今年の発表会では聴衆席の最後尾で保護者と来年度の 6 年生（現 5 年生）が発表を見学していた。発表後は保護者と 5 年生からも感想が述べられる。

実は取材する僕も「小 6 で卒研とはずいぶん大仰な」と思っていました。卒業研究は大学生が学位を取るためにするものです。いくらなんでも小学生には無理でしょうと半分ネーミングの大仰さを感じての取材でした。

実際発表を見ているとサッカーや野球、バスケなどの運動系の練習方法やボールを曲げるテクニックなどのテーマが多く、内容的にも特別な発見や成果が出たというものではありませんでした。

「やっぱりね」と半ば納得して発表を聞いていたのですが、発表する 6 年生たちの熱意というか気迫に感心して聞いているうちに自分の考えの方がおかしいのではないかと思うようになりました。どうやら「卒業研究」という言葉に感化され彼らの研究の成果を見誤っていたようです。

実例を挙げましょう。ある男子は将来サッカー選手になりたいという夢をもって、そのために今やることというテーマで「サッカーボールのけり方」を研究していました。ボールのどの部分をどのくらいの力で蹴るとどんな球になるのかという研究です。彼はそれを何度も実験し、数値も出し、専門家にどんなトレーニングをしたらいいかを聞き、それを論文としてまとめていました。

結果として出てきたものは確かに図書館やインターネットで調べれば同じような結

春を待つエコパーク

冬のエコパークはとても静かで、昔の農村の冬のような一種ひなびた雰囲気があります。収穫を終えた作物の切り株や捨てられて枯れた葉物野菜が整然と積み上げられ、その横には春に咲く作物の若い芽が少

果が得られるもので、「卒研」というには少し大仰な印象です。しかし、彼らの研究を将来自分がなりたいものになるためのロードマップと考えればどうでしょう。サッカー選手になりたいために今何をすればいいかを自分で考え、その結果を実践して現段階で得られたものを形として残したとすれば、それは卒研以上のものです。

もうひとつ感心させられたことがあります。それは彼らが 1 年間という長い時間をかけてこの研究を完成させていることです。発表を聞いていると多くの子どもが夏休み頃の早い段階でデータ集めを終えていて、その後は発表のためのまとめに多くの時間をかけているようでした。

子ども達の集中力を 1 年間持たせるのは大変です。学年のはじめに「やるぞ」と思っても、同じテーマで 1 年間続けるのは大人でも大変です。それを続けさせるのは指導する先生と、それを支える打瀬小の「卒業研究」教育の積み重ねがあるからだと思います。一時的に、ひとつの学年やクラスだけでできた成果ではなく、創立以来 20 年以上かけて積み上げてきた指導方法やノウハウが沢山あるのだと思います。

6 年生になって将来自分がなりたいものになるために今何をすればいいのか、小学校最後の 1 年間でそれをしっかり考える。そのためのプログラムを打瀬小は 20 年かけて作りあげてきた。そう考えれば創立当時とは違った打瀬小学校の良さを改めて感じられました。

しだけ顔を出しています。

今は一年中花を咲かせて季節感のない花壇が多いのですが、冬にはゆっくり、静かに休んで春を待つ田園のもいいものです。ぜひ一度足を運んでみてください。





中学校生活

私は、中学校生活三年間、合唱の伴奏に力をいれてきました。その中でも特に印象深いのは、最後の音魂祭です。

私のクラスは、二年生になってから、一度も行事などで賞を取ったことがありませんでした。だから、最後の音魂祭では、賞を取るということを目標に、毎日練習をしました。最初はクラスが全然まとまらなくて、伴奏者であることが嫌になる時もありました。しかし、本番に向けてどんどん団結していき、本番では最高の歌を披露することができました。目標だった賞を取るといってもできて、とても感動したのを、今でも覚えています。

中学校生活の三年間は、本当に楽しいこと、充実したあつという間の三年間でした。高校では、自分の知らない人ばかりになるので、今は正直とても不安です。しかし、勉強、部活動、行事など、この三年間で学んだことを高校生活にも生かして、多くのことに挑戦していきたいと思います。

【3年 石川涼楓】

今月は打瀬中の1、2、3年生の皆さんに原稿をかいてもらいました。学年の行事がほぼ終わり、学年特有の学校の雰囲気や文章から伝わります。ありがとうございました。

【編集部】

心をひとつに！

私たち1学年は、3年生を送る会に向けて「1年生286人全員の心をひとつにし3年生が感動して涙するようなパフォーマンスをしよう。」ということを目標に、クラス代表のダンスリーダー合計8人を中心に学年を動かしています。

実際、3年生を送る会でやるハンドダンスは自分たちで考えました。ハンドダンスは学年の1人1人が気持ちを合わせて協力しないとできない難しいことですが、そろそろすごいきれいで、感動が生まれます。

目標を達成するために、手をあげる高さやタイミング、手をさげるタイミングなど、基本的なことを1つ1つ大切にしながら練習しています。

今まで練習したことを意識し、本番にのぞみたいです。そして、安心して卒業できるようなパフォーマンスをしたいです。

【1年 松本結菜】

感謝をこめて

3年生を送る会実行委員長の茂木雄斗です。

実行委員長として、一人一人が自分の全力を出し切って、今までの3年生を送る会史上、一番のもの、そして3年生の思い出にできるものにしたいです。

今年の学年発表は1年生はハンドダンスで、2年生は、全体劇とスライドです。

1年生は、昨年から実行委員、ダンスリーダーを中心に選曲、振り付けの確認をしてきました。

2年生は、学年発表では初めての劇で、キャストや大道具、音響・照明など各係練習が大変ですが、とても良い劇になりました。スライドは曲に合わせて入学からの思い出の写真を3年生に楽しんで頂けると思っています。

一、2年生が全員、3年生への感謝の気持ちを、発表で表現できる舞台にしていきたいです。【2年 茂木雄斗】

ベイタウンの路上駐車問題について

先日、ふと路上駐車について考えさせられる出来事がありました。

自動車の買い換えを検討していた際、新しい自動車が車体サイズの関係で自宅マンションの駐車場を利用できないことが判明しました。幸い正式な売買契約前に発覚したため、「買ってしまったのに車庫証明がとれず、名義変更ができない！」という事態は免れましたが、中には契約後に気がついて契約解除の可否を巡ってトラブルになった方もいらっしゃるかもしれません。

今回、自宅マンションの駐車場について、恥ずかしながら初めて知ったことがありました。車長・車幅や車両総重量による制限などが意外に厳しい！少し室内にゆとりのあるサイズのものを買おうとすると、長さ制限や重さ制限の壁にぶつかることがあるのです。うちは自走式ですが、機械式の場合はより制限が大きいと思います。

私の場合、買おうとした自動車がいたく気に入っていたので、一瞬悪魔の誘惑にかられました。離れた実家で車庫証明をとれないか、あるいは路上駐車でのしげないか…。冷静になり、理性を保って諦めましたが、中にはそうした方法を実行に移した方もいらっしゃるかもしれない。そうした思いから、近所の路上駐車状況を数日にわたって観察してみました。

幸い、今回観察対象とした道路には、明確に車庫代わりに路上を利用していると思われる自動車は見当たりませんでした。日を変えて複数回同じ道路上に駐車されていた車両はありました。

ベイタウン内の道路は、駐車禁止規制のされていない場所がほとんどで、多くの路上駐車車両があることは日常的に目にします。

運転者の立場からすると、路上駐車車両があることで、走行にとても神経を使うことが多いでしょう。私の場合、駐車車両によって走行可能な道路幅が狭くなり、対向車とすれ違う際に慎重な運転操作が必要とされたり、駐車車両の間から子供が飛び出してく

るのではないか、駐車車両のドアが突然開くのではないかと神経をとがらせながら運転したりといったプレッシャーを感じます。場合によってはそれが事故の発生につながったケースもあるかもしれません。

他方で、自身が路上駐車を必要とする場面も多くあります。プロムナードで買い物をする時や、友人らが自宅に来てくれたときにマンションの来客用駐車場が空いていない時などです。

このような矛盾する状況をいかに調和させることができるのでしょうか。直ちに妙案は浮かびませんが、極力路上駐車をしないように心がけることは今日からでもできることです。自分の意識から変えていきたいと思います。【加藤】



海浜打瀬小入り口付近の駐車状況。表通りではない「路地」部分には特に多くの車両が止められています。その1台1台にはそれぞれの事情があると思うのですが、連なるとただの迷惑駐車になります。

磯辺に学ぶ

昨年12月号で、高齢化という点で隣の磯辺地区がベイトアウンの先輩であるということをお伝えしました。今回は、その続編として磯辺地区の現在の取り組みを取材してきました。【小原】

まず、どのような活動があるのかを知るには、「であい・ふれあい・ささえあいの街 磯辺」という健康福祉ガイドブックが大変参考になります。昨年6月に刊行されたもので、高齢者・子育て・障がい者など、地域の様々なサポート体制がリストになっています。地域力の結集です。ベイトアウン版を作ったらどんな活動があるでしょうか。

また、自治会活動では、以前からの見守り活動の発展形として「支え合い活動」という有償の助け合いシステムが、自治会ごとに準備でき次第スタートすることになっています。ここに至るには、話し合いを重ね、各組織を調整し、住民の合意を形成するプロセスが必要です。取材させていただいた磯辺地区の町内自治会連絡協議会会長の小谷さんのお話から、一朝一夕で出来るものではないということが痛感されました。

次に視点を変えて、住民の日常的な交流の場を取材しました。

中心的役割を果たしている場所が平成

27年8月に正式オープンした「磯辺地域ルーム」です。ここは千葉市初の地域集会所施設ということで、「磯辺街づくり研究会」書記局の橘さんは、ベイトアウンコアのような住民が気軽に利用できる場所にしたいとイメージしていたそうです。

「磯辺街づくり研究会」とはこのルームの自主的な運営の中心を担っている、磯辺の住民を中心とした任意団体です。現在はこの地域ルームで開かれる「百歳体操」サークルや「シニアリーダー体操」サークルを核として住民の様々な活動の場を支えています。

特に百歳体操は、磯辺のお年寄りのトレンドだそうで、私が取材した回は、男性5人女性15人の参加者が、DVDを見ながら体操をしていました。

「百歳体操」や他の体操を含めた1時間のプログラムは、誤嚥防止・滑舌改善などを旨とした口腔体操、主に椅子に座った状態での筋力トレーニングで、ゆっくり無理のないペースでした。

会場の雰囲気は、参加者の皆さんの表情

が豊かでおしゃべりの声もはっきりしていました。「体操サークルを始めた頃は、シーンとした雰囲気でしたが、何回も続けるとだんだんにぎやかになりました」と橘さんは言います。規約も制約もない気楽な居場所がある安心感、自分の活力への自信が継続するポイントだそうです。

会員の増加のため、週5日1日2回この地域ルームや他の集会所で開かれています。リーダーが何人も巣立ち、各自治会の集会所でサークルを立ち上げました。すると「街のことをよく知るようになった」「通りがかりの人に声をかけてもらうようになった」とリーダーになった人が地域デビューしたことを実感するという思わぬ副産物まであったとか。

百歳体操にはベイトアウンからの参加者も1名います。ベイトアウンにもこのような場があれば参加するという人は、かなりいるのではないのでしょうか。それにつけても、すでにコアは多くのサークルで満杯です。この「地域ルーム」のような、地域の問題に柔軟に対応できる施設がコアに加えて必要になっていくでしょう。また、それを支える人も多ければ多いほどいいわけで、多様なボランティア活動のリーダーを育てて支援するしくみも大事になるでしょう。

単純計算でベイトアウンが超高齢社会を迎えるのは7年後。どんな支え合いのしくみができているのでしょうか。待ったなしです。

幕張海浜公園の梅林 今年は遅め

幕張海浜公園には小さな梅林があります。20本ほどの梅の木があるだけの小さなスペースですが、白梅と紅梅が日当たりのよい場所に適度な間隔で植えられ、天気の良い日には朝から近くの保育園児や親子連れで賑わいます。ベイトアウンからも行く人は多いでしょう。

この梅林、毎年2月下旬には満開を迎えていたと思うのですが、今年はこの原稿を書いている2月20日の時点ではまだ五分咲き程度。この公園には野鳥が多く、梅林には花の蜜を求めてメジロがよく集まります。毎年その姿を撮ろうとカメラを持って行くのですが、メジロの姿もまだ見えません。このニュースが発行される3月初旬には見頃となっているのでしょうか。



梅園の様子。小さい子どもたちが芝生で遊べるようなスペースもあり、休日には親子連れで賑わう。

打瀬公民館からのお知らせ

お肌いきいき 美容教室！

シニア世代のみなさまのために、公民館ではシニア健康講座を開催しております。

今回はヤクルト化粧品さんの協力で、「お肌いきいき美容教室」のお話しと実技の指導を行います。毎日をいきいきと過ごすための「美と健康」のためのプログラムです。ヤクルト化粧品のスタッフの皆さんがいてねいに美容と健康についてご指導します。シニア世代以外の皆さまも振るってご参加ください。

日時：3月8日（木）10：00～12：00

場所：打瀬公民館 講習室

講師：ヤクルト化粧品事業部の皆さん

内容：「季節のスキンケア」

「5歳若返りメイク」

「日々のお手入れの仕方」

受講料：資料費 300円

対象・定員：成人 20名（先着）

申込み受付：2/9（金）9：00～ 直接公民館の窓口か電話で受け付けます

打瀬公民館：TEL 296-5100

ベイトアウンニュース記者募集のお知らせ

ベイトアウンニュースの記者を募集しています。中学生以上でベイトアウンに住み、好奇心旺盛な方で、毎月第1土曜日のニュース配布会に参加できる方ならどなたでもどうぞ。記事を書かなくても助けてもらいたいことはたくさんあります。よろしくお願いします。

TEL：043-211-6853、E-mail：mazmbtn@gmail.com（松村）

新都心の特産品

この頃ようやく落ち着きましたが、この冬の野菜の値段の高さに参りました。最近テレビで幕張に地下野菜工場があると紹介されていたので、関心を寄せていた人も多かったと思います。その地下工場を見学できるチャンスがあったので、行ってきました。見学日数日前に決まった企画にもかかわらず、当日35人も人が集まったことは、市民の関心の高さの現れでしょう。【小原】

実はこの話、「なぜ、幕張の地下に野菜工場？」それが最初の疑問でした。千葉県は幕張新都心の開発当初、今のイオン幕張新都心店や習志野市の方まで街が広がるという予定を立て、200億円を投じて水道管や様々な配線用に総延長3.3kmの共同溝トンネルを整備しました。残念ながら使われなかったその空間をどうにか有効利用できないか、と模索した答えが地下野菜工場だったのです。案内してくださった千葉県企業土地管理局副局長の土岐さんの話によると、他にワイン庫や椎茸栽培なども活用方法として考えたそうですが、地下であることから人が常時入ることは防災上問題なので、全自動化できる野菜工場に白羽の矢が立ったということです。

入り口は習志野市芝園で、島忠ホームズ幕張店（島忠ホームセンター）のすぐ近くに 있습니다。「幕張ファーム vechica（ベチカ）地下植物工場」という表示がある三角屋根が目印です。伊東電機という会社が管理運営しています。

さあ、潜入（？）です。地下10mまで階段を降ります。時折ドシンと上を走る車の振動が感じられました。地上は道路ですが、壁の厚さは1mということとても頑丈です。中は広い空間で確かにもったいない。温度は18℃と年間ほぼ一定なので空調の必要がなくエコです。その中に煌々とLEDに照らされた「畑」がありました。レタス、ベビーリーフ、食用花などが栽培されています。特徴は、全自動栽培なので人の手が加わらず、衛生的な環境が保てるため、水洗いなしで食べられるということ。レタスなら種まきから収穫まで44日。2020年に一日5,000株の出荷が目標です。その頃には総距離1.1kmの工場になるそうですが、

今は長さ30mの箱状の機械一台で実証実験中なので、野菜の販売はまだしていませんでした。

以前だったら、土なしで野菜ねえ、と抵抗を感じたでしょうが、野菜不足の今となると安定して供給されるのはありがたい。また、見学中間かれた「自分の食べているものは素性が知りたいものよね」という感想は、安全安心に対する信頼感の大切さを指摘するものです。

その日の夕飯で、試食用に頂いたレタスをサラダにしました。洗わずに食べる葉っぱは少々不思議な感覚。地元の地下で当日収穫したばかりの新鮮野菜を盛り込んだエコでクリーンなサラダが普通に食卓に上る、そんな日はもう夢ではなくなるのですね。



まるでおとぎの世界への入り口のよう。ベチカ地下植物工場の入り口。イオンモール前の道路にこんな地下空間があるとは思ってもみませんでした。

工場内の「野菜畑」はこんな感じ。土はなく、肥料の臭いもしません。「LEDで明るく照らされ、全自動なので低雑菌でクリーンな環境がセールスポイントです。」



3月のコア・イベント

わくわくおはなし会 3月のおはなし会

日時：2018年3月17日 第3土曜日 午前10:30から

場所：ベイトウン・コア講習室

今月もわくわくするお話を用意してお待ちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももぜひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね <http://blog.livedoor.jp/chibawaku/>

お問合せ先 chibawaku2@freeml.co

寺子屋工作ランド

「レインボースコープ」をつくる

日時：2018年3月24日 第4土曜日 午前9:30～11:30

場所：ベイトウン・コア工芸室

にじ色の万華鏡みたいなふしぎなスコープ。なにが見えるかな。

持ってくるもの：はさみ、木工ボンド、きれいな千代紙

参加費：50円（保険料）

第169回ファティオリの会

日時：2018年3月25日（日） 午前9:30～11:30

場所：ベイトウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファティオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用を希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

締切：2018年3月18日（日）

申込先：須原 email: suhara-u@kmj.biglobe.ne.jp

幕張ベイトウン室内合奏団 第13回演奏会

日時：2018年3月11日（日）14:00 開演（13:30 開場）

場所：幕張ベイトウンコア・ホール

演奏曲目：

シューベルト 弦楽四重奏曲 第14番「死と乙女」

ベートーヴェン 弦楽四重奏曲 第12番

サン＝サーンス「動物の謝肉祭」より、他

ピアノ連弾と弦楽四重奏をお楽しみください。

第5回 アトリウムコンサート

恒例のコア・アトリウムでのコンサートです。通りすがりに気軽に聞けるのが魅力のコンサート。今回はコアで活動する3つの音楽サークルが出演します。

日時：2018年3月17日（日）14:00 開演

場所：幕張ベイトウンコア・アトリウム

出演：

コール・フリーチェ

コアチェンバーシンガーズ

幕張ベイトウン室内合奏団